

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立有馬小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

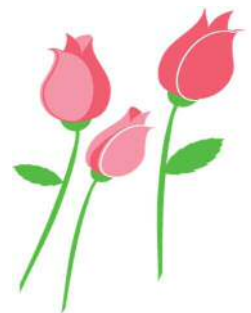
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的でできている点

- 文章を読み、ひらがなを漢字に書き直すことができます。
- 物語文を読み、主人公の気持ちの説明を選択肢の中から適切に選ぶことができます。
- 物語の空欄を選択肢の中から補い、文章を完成させることができます。

◆課題のある点

- 話し合いにおける発言者の理由や意図をくみ取ることに課題があります。
- 物語文を読んで、他の人の意見から、その理由や根拠を文章中から探すことに難しさがあります。
- 記述式の問題で、複数の条件を満たして文章を書くことに課題があります。
- 問題を最後までやり終えることに課題があります。（無解答も多く見られました。）

今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えを文章に表す活動を継続的に行いながら、構成や文型を意識した文章が書けるように指導していきます。
- 話し合いにおける、質問の意図や目的を捉えることができるよう、実践の機会を増やしていきます。
- 記述式の問題への苦手意識が強いため、苦手でも最後まで取り組む姿勢が身につくよう声をかけ続けます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 4桁×1桁の計算で、空位のある場合でも正しく計算することができています。
- 長方形を描くプログラミングの問題で、向かい合う辺の長さに着目して、正しく答えることができました。長方形の性質、構成の仕方についてよく理解しています。
- ジュースの果汁の濃度の問題で、百分率で示された割合を分数で表すことができています。

◆課題のある点

- どのような手順で答えを求めたのか、式や言葉を使って説明することに課題があります。
- 概数の学習において、四捨五入、切り上げ、切り捨ての仕方自体は理解していましたが、問題に合わせて使い分けることに誤りが見られました。
- 二つの数の最小公倍数と、最大公約数の違いについての捉えが曖昧でした。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎・基本の定着を目指し、既習事項を用いて課題解決していく力を育むとともに、生活にも生かしていけるように指導していきます。
- ノートに自分の考えを書き出したり、友だちに自分の考えを説明したりするために、式や図を用いて論理的に説明する力を身につけられるよう指導していきます。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 実験器具の名前を正確に覚えることができます。
- メスシリンダーの目盛りを正しく読み取ることができます。

◆課題のある点

- 実験の予想や考察をまとめる時、自分の考えを文章にすることに課題があります。
- 条件のある問題に対して、条件を踏まえた上で解答することに課題があります。
- 記述式の問題で、複数の条件を満たして、文章を書くことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

○記述問題

授業でノートに「まとめ」を書く際にステップアップ方式をとり、段階的に書けるようにしていきます。（最初はテンプレートや穴埋め、キーワード等を活用し、最後はすべて自分で書けるようにします。）

○自分の考えを文章化

「予想→実験→結果→考察→まとめ」までの流れを確実に定着させ、結果が出たから終わりではなく、そこから考えられることを自分で書けるようにしていきます。

○学習に対する興味・関心

導入段階での身近な話題を提示し、児童自ら課題を設定していける環境をつくります。

○文章を読み取る力

同様の問題を日ごろから解く練習を行ったり、家庭学習で活字に触れたりする機会を増やします。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 自分の考えをまとめて発表する活動をはじめ、いろいろな学習場面でタブレット端末が積極的に活用されています。
- 算数の問題で、解き方がわからないときもあきらめずにいろいろな方法を考えている児童が多いです。
- 道徳の学習や学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしようとしています。

◆本校の課題と思われるところ

- 学校以外の学習時間が短く、計画的に家庭学習を進めることに課題があります。
- 算数や理科の時間に学習した内容を、普段の生活の中で活用できないかと考えている児童が少ないです。
- 国語の文章で書く問題に取り組むときに、解答しなかったり途中であきらめたりした児童が3割を超えています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 将来の夢や目標をもっている児童、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童がともに9割を超えています。
- ほぼすべての児童が、いじめはどんな理由があってもいけないと思っています。
- 学校に行くのが楽しくて、友達と協力することも楽しいと感じています。

◆本校の課題と思われるところ

- 携帯・スマートフォン等の使用について、家族と決めた約束をきちんと守っている児童が少なく、さらに約束自体がないと答えた児童の割合も非常に高くなっています。また、このことが起因するテレビゲーム(スマートフォンを使ったゲームを含む)の時間や、SNS や動画視聴の時間が非常に長くなっています。
- 地域の行事に参加することや、地域のために何をすべきか考えるなど、地域とのつながりが希薄になっているような兆しが見られます。

今後の具体的な取組について

- 携帯やスマートフォンの使用方法を考えていくことや、家庭学習の定着を推進していくことができるよう、家庭との連携を一層強化していきます。
- 1人1台端末の効果的な活用の研究と実践を継続して取り組んでいきます。
- 道徳の学習やその他の教科の学習、さらに学級の活動など、あらゆる場面での話し合い活動の充実を図りながら、同時に書くことも強化していくことができるような言語活動の指導に努めていきます。
- 地域とのつながりを大切にして、子どもたちを地域の中で育てていくという関係をこれからも大切にしていきます。

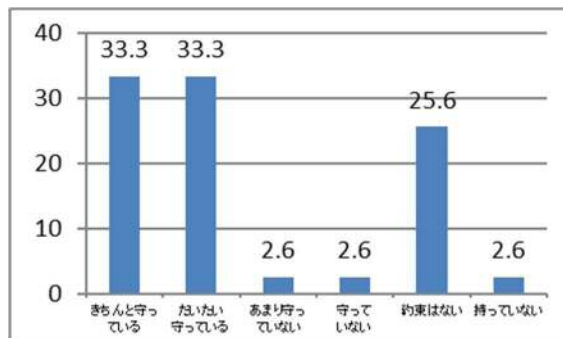
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

スマホの使い方などに 約束を設けましょう

スマホやコンピュータは、便利である反面、見知らぬ人と知らぬ間につながりを持ちたり、不適切な表現に触れて感化されたりなど、さまざまな危険があります。子ども任せにせず、具体的なルールを決めておきましょう。

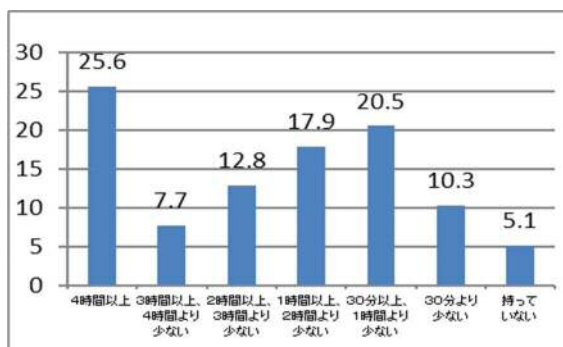


携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

2

SNS や動画視聴の時間を 減らしましょう

SNS や動画視聴の時間が多く、読書や家庭学習の時間が少ない傾向が見られています。時間の制限を設けるなどして、限られた時間を有意義に使えるよう、話し合しましょう。

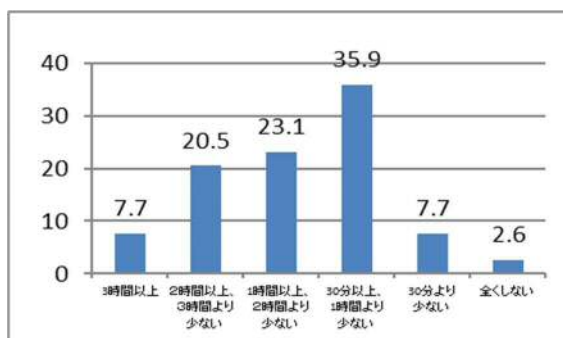


普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

3

家庭学習に継続して取り組み、 よりよい学習習慣を身につけましょう。

学習内容を着実に身につけていくためや、自分自身で目標を決め、成長意識を持って計画的に取り組む力を育むためにも家庭学習は大切です。見守りや励ましを続けましょう。

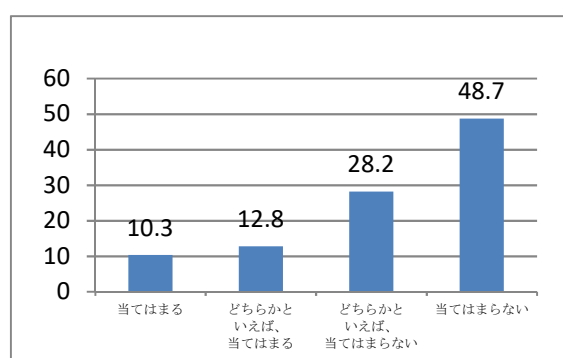


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

4

地域の行事に積極的に参加しましょう。

地域の行事へ参加する家庭が減少しているようです。感染状況にもよりますが、学校では学べない貴重な経験や触れ合いができたり、地域の方とつながる機会にもなったりしますので、ぜひ関心を持ちましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係